



青葉匂う

四日市市立港中学校通信

平成30年度 第3号

5月8日(火)発行

5月の生活主題 「グループで助け合おう！」です

1年生の皆さんは、今月の生活主題を知っていますか。港中学校では、生徒一人ひとりがよりよい学校生活を送れるように毎月「生活主題」を掲げています。そして、この生活主題を基にして、生徒会本部や各委員会で具体的な方策を決め、全校生徒で活動していきます。

ちなみに4月は「大きな声であいさつをしよう」でした。本校では、学校だけでなく、家庭や地域においても、良き伝統として、声を出して挨拶をすることを大切にしています。ほとんどの生徒たちはとても気持ちのよい挨拶ができています。

さて、今月の主題を達成するために、「授業」での学び合い活動、「班活動」での話し合い活動や清掃活動、「部活動」での練習や試合においてなど、様々な場面で「グループで助け合う」ことができます。

加えて、1年生は自然教室の取組み、3年生は修学旅行の取組みを通して、「助け合う力」を発揮して、学年行事の成功と中学校の思い出づくりにつなげてほしいと思います。

学校行事説明会・授業参観・PTA総会へのご参加に感謝します

4月27日(金)の学校行事説明会および授業参観等へのご参加ありがとうございました。本校の生徒及び教職員の様子はいかがでしたでしょうか？3年生の保護者のほとんどの方が、開始前の早い時間帯から静かに着席いただいたことに感謝いたします。初めてのお子さんが中学3年生を迎えた保護者の皆様にとりましては、緊張感のある第1回進路説明会及び修学旅行説明会であったことと思います。生徒と隣り合わせで座り、真剣に説明を聞いていただきました。1年生は視聴覚室で自然教室説明会を行いました。1年生の保護者の皆さんも静かに着席いただいたことに感謝いたします。2年生は、担任の教科を中心に授業を行いました。お子さんの1年間の成長を感じてもらえたのでしょうか？

さて、本校では、1学期の学校公開日として、6月7日(木)～6月8日(金)の2日間を予定しています。今回の授業参観とは異なり、一日中都合の良い時間にお越しいただき、自分のお子さん様子だけでなく、お知り合いのお子さんの様子も参観していただく良い機会だと思います。また、休み時間や昼食時間、清掃時間、部活動の時間の様子も見ていただく絶好の機会です。授業参観の時の印象とはまた違う印象をお持ちいただけるのではないのでしょうか。



1学期中間テスト発表 頑張りましょう！

本年度最初の定期テストである1学期中間テストを、5月24日(木)25日(金)に実施します。1年生は中学校生活初めての定期試験となり、緊張している生徒もいることでしょう。勉強の方法に正解はありません。いくつかの方法を実際に試してみて、自分に合ったスタイルを早く見つけてほしいと思います。勉強方法については、先生や保護者の方の豊富な経験や、先輩や友人からのアドバイスなどから学んでください。計画を立て、時間を上手に使い、学習に励んでください。

学校は、「テストを受けるためのルール」等を統一しています。これは、高等学校の入学試験の方法に、早くから慣れることを目的にしています。1年生時から慣れることで入学試験時の緊張感が減り、落ち着きが増します。併せて、先生の監督についても、指示が変わらないようにすることが重要であると考え、テスト監督のあり方も統一しています。

特集 中学生の成績が伸び悩む原因（出典：ベネッセ 教育情報サイト）

せっかく勉強をしても、定期テストや実力テストでいい点数が取れないとつらいですね。本当に頑張っているのに成績が伸びないのであれば、きっとどこかに原因があるはずです。原因を6つ紹介しますので、自分の状況と照らしてみてください。

【原因1】勉強をしている「つもり」「フリ」になってしまっている

「机に向かう」と、「勉強をしている」ことは、イコールではありません。休憩や居眠りの時間を除いてどれだけ勉強しているか、一度計ってみるとよいでしょう。何となくがんばっていたつもりでも、「真の勉強時間」は意外なほど少ない、ということがあり得ます。例えば、テレビ番組が気になるからなのか、スマホが手元にあるからなのか、集中できない原因を探してみよう！

【原因2】授業を聞いているいない

学校の授業が頭に入っていないと、ゼロから自分で勉強することになります。単純に考えると、1回の授業が50分だとしたら、自分で50分勉強してようやく授業を聞いている人と同じになるわけです。これではいくら時間があっても授業を聞いている人にはなかなか追い付きません。特に、「塾で勉強するから、授業は聞かなくていいや」と思っている人は要注意！

【原因3】前に習った範囲を理解できていない

真剣に勉強していてもイマイチ内容が理解できないという場合、今勉強している分野ではなく、その分野の土台となる基礎がわかっていないのかもしれませんが。例えば数学で言うと、中2や中3で習う「関数」は、中1で習う「比例・反比例」が土台になっています。自分がどこからわからなくなったのかを突き止め、必要であれば小学校の内容にまで戻って理解し直そう！ゴールデンウィークはチャンス。

【原因4】暗記や理解が定着していない

勉強しているその場では覚えている、わかっているのに、テストになるとできないというパターン。これは、問題を解く量とタイミングを変えると解決できるかもしれません。人間の頭は、一度わかったことをそのまま取っておけるようにはできていません。わかっているかどうかを試さないと、どんどん忘れていってしまうのです。勉強したらすぐに問題を解き、テスト前にもう一度解き直すと頭に残るよ！

【原因5】間違えた問題をやり直していない

問題を解いても「解きっ放し」では、問題集に何冊取り組んでも意味がありません。できなかった問題についてどうしてできなかったのかを調べ、その部分を理解し直して初めて実力がつくのです。理解できたかどうか、もう一度問題を解き直して確かめることも忘れずに！

【原因6】効率の悪い対策をしている

一つひとつの勉強法は間違っていないのに成績に伸び悩んでいるという場合は、どこを勉強すれば点数につながるのか、戦略の部分を見直してみましょう。例えば、いつも90点取れている得意科目をいくら勉強しても、それ以上点数を伸ばすことは難しいでしょう。ほかに点数の低い科目があれば、それを勉強した方が効率的です。また、一般的にテストに出るのは基礎が最も多く、細かい知識になればなるほど出題される可能性は低くなります。テストに出そうな部分から優先して取り組もう！